

100歳おめでとうございます

—長寿者褒賞(100歳)—



▲大正5年3月22日  
生まれ

3月22日(火)、100歳の誕生日を迎えられた池田あや子さん(和良町土京)のご自宅に日置市長がお祝いに訪れました。日置市長から、お祝い状や花束を贈呈し「100歳おめでとうございます」と述べると、池田さんは「ありがとうございます」と笑顔で喜ばれました。いつまでもお元気で。



▲大正5年3月27日  
生まれ

3月25日(金)、金子みちさん(八幡町初納)が3月27日に100歳のお誕生日を迎えられることをお祝いするため、日置市長がご自宅を訪れました。日置市長は、「おめでとうございます」と述べると、金子さんは「ありがとうございます」と感謝を述べられました。いつまでもお元気で。

3月16日  
(水)

JICA青年海外協力隊員 美谷添さんが表敬訪問

—フィリピンでの野菜栽培技術支援ボランティア派遣—

美谷添三希郎さん(八幡町)が、青年海外協力隊の派遣にあたり日置市長を表敬訪問されました。

美谷添さんは、2年間の予定でフィリピン共和国東ネグロス州バレヘルモソ町役場農業事務所において野菜の有機栽培などに関する指導をされます。



▲青年海外協力隊として派遣される美谷添さん(右)



▲大正5年4月1日  
生まれ

4月1日(金)、100歳の誕生日を迎えられた和田フサエさん(八幡町本町)が入所するせせらぎ緑風苑(八幡町旭)に日置市長がお祝いに訪れました。日置市長は、お祝い状や花束を贈呈し「100歳おめでとうございます」と述べ、和田さんのお誕生日をお祝いしました。いつまでもお元気で。

3月23日  
(水)

全国大会で上位めざす

—全国大会出場激励会を開催—

3月25日(金)から高山市で開催される「2016 JOC ジュニアオリンピックカップ全国ジュニアスキー競技会兼2016全日本ジュニアスキー選手権大会・アルペン競技」に出場する高鷲中学校の4人と高鷲北小学校の2人の全国大会出場激励会が、市総合文化センターで行われました。



▲「悔いが残らないよう頑張りたい」と語る選手(中央)

▲高鷲中学校の小川朱里さん(3年)、小倉愛花さん(2年)、山田亜香里さん(2年)、川端奏海さん(2年)、高鷲北小学校の川端千聖さん(6年)、山下翔愛さん(5年)

3月25日  
(金)

待望の新校舎が完成

—小川小学校新校舎竣工式—



▲完成を祝いテープカットをする関係者のみなさん

明宝小川地区にある小川小学校の新校舎が完成し、関係者約60人が出席する中、竣工式が行われました。新校舎は、小川保育園を併設した木造平屋建てで、郡上市産材をふんだんに使用した暖かみのある児童・園児にやさしい校舎となっています。今回の新校舎完成で小中学校の耐震化は、全て完了しました。

3月25日  
(金)

## 和良～下呂温泉間、時間短縮

—濃飛横断自動車道「和良金山道路等」開通式典—

郡上市と中津川市とを結ぶ「濃飛横断自動車道」の一部となる、和良町方須から下呂市金山町をつなぐ「和良金山トンネル」などが、この日開通しました。これまで東海北陸自動車道郡上八幡ICから下呂温泉まで車で約75分でしたが、今回の開通により25分程度の時間短縮が図られました。



▼関係者と両市の園児とがテープカットをする様子

3月31日  
(木)

## 最新の救助資機材を装備

—救助工作車運用開始—



▼日置市長に機材を説明する様子

郡上中消防署（八幡町）に配備されている救助工作車が更新され、日置市長に運用開始報告が行われました。照明設備やクレーン装置を装備した車両には、画像探索装置、化学防護服、空気式マットや特殊切断機等、最新の救助用資機材が積載されており、多様な災害に対応できるようになっています。

3月31日  
(木)

## 地域のために今後も発展していきたい

—第75回中日農業賞特別賞を受賞—

新しい経営理念で地域農業をリードする個人、団体等を表彰する第75回中日農業賞（中日新聞社主催、農林水産省と中部9県後援）の特別賞に選ばれた一般社団法人郡上旬彩館（大和町）の松永徹理事長らが日置市長に受賞の報告をされました。



▼郡上旬彩館の関係者のみなさんと日置市長（左）

4月5日  
(火)

## 新規就農者への研修施設整備

—「郡上トマトの学校」開所式—



▼テープカットをし開所を祝う関係者のみなさん

めぐみの農業協同組合が白鳥町長滝に整備した夏秋トマトの新規就農者研修施設「郡上トマトの学校」の開所式が行われました。この施設は、後継者の確保や生産量の安定化を図るため、新規就農者向けの研修施設として、同組合が初めて整備したもので、第1期生の2人は、今後2年間ここで研修を受けます。

4月16日(土)  
～17日(日)

## 悪天候の中、132人が力走

—2016さくら道国際ネイチャーラン—

人々の幸せを願い、太平洋と日本海を桜のトンネルで結ぶことを夢見た旧国鉄バス車掌、故・佐藤良二氏の遺志を継ぐ「第23回さくら道国際ネイチャーラン」が開催されました。名古屋城から郡上市を經由し、石川県金沢市の兼六園まで全長250kmを36時間以内に走るこの大会に国内外から132人が参加しました。



▼名古屋城からスタートするランナーのみなさん



▼トップでゴールした重見さん（左）

途中、悪天候のため大会史上初めての中止となりましたが、中止になるまでに4人のランナーが完走されました。トップでゴールしたのは長野県の重見高好さんで、所要タイム22時間48分でした。沿道では多くのみなさんからランナーに声援が送られていました。